Hamahome News 2022

㈲濱田工務店
料金後納郵便
ゆうメール

はまちゃん新聞 6月

vol.170

衣替えの時期を迎え、道行く人々の装いにも夏らしさが感じられるころとなりました。梅雨の季節でもある６月は湿度が高くジメジメとしていて憂鬱な気分になりますよねぇ (~_~;) とはいえ、この時期にまとまって降る雨は恵の雨なのでとても大事です。雨が続くと気が滅入りがちですが、気分が上がるお気に入りの傘を見つけたり、綺麗な紫陽花を眺めたりと楽しみながら過ごすと良いですね。また、ちょうど一年の半分が終わる時期なので、上半期を振り返ってみてもよいかもしれません。

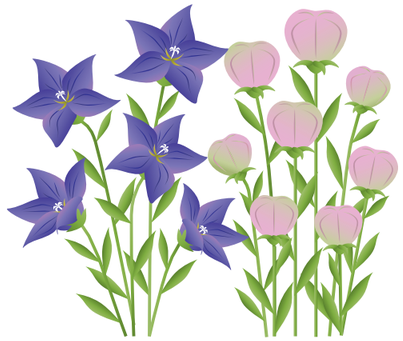
６月のイベント・行事

- 6/1（水）　衣替え
- 6/4（土）　金沢百万石まつり
- 6/16（木）和菓子の日
- 6/19（日）父の日
- 6/21（火）夏至
- 6/30（木）夏越の大祓（なごしのおおはらえ）

和菓子の日

平安時代中期、日本国内では疫病が蔓延したため、任明天皇（にんみょうてんのう）は元号を「承和（じょうわ）」からとてもめでたいという意味の「嘉祥（かじょう）」に改めました。嘉祥元年６月１６日に厄除けや健康招福を祈願し、１６個の菓子や餅を供えたことが和菓子の日の起源とされています。江戸時代には「嘉祥頂戴」という行事として幕府で盛大に行われ、多い時には江戸城の大広間に２万個を超えるお菓子が並べられ、将軍から大名や旗本に配られていたそう。それが民間にも伝わり、１６文でお餅やお菓子を買って食べる「嘉祥喰（かじょうぐい）」と呼ばれる習慣が根付きました。この嘉祥菓子の習慣は、明治以降に一度衰退しましたが、昭和５４年に全国和菓子協会が「和菓子の日」として復活させました。期間限定で「嘉祥菓子」を販売しているお店もあるそうです。普段は和菓子をあまり食べない方もこの機会に日本の和菓子文化に触れてみては如何でしょうか。

６月の花



桔梗（キキョウ）

花言葉・・永遠の愛・誠実・気品
由来・・・日本を含む東アジアが原産です。近年は日当たりの良い山野が減った為、野生種は絶滅危惧種に指定されていますが、園芸品種は多く八重咲き、袋咲き、白やピンク色などもあります。根は漢方薬として用いられます。桔梗は古くから日本人に愛されてきた花で、明智光秀や坂本龍馬など武士の家紋に使われています。また、上から見た姿が五芒星に似ていることから陰陽師である安倍晴明も紋として用い自宅の庭に沢山の桔梗を育てていたそう。

金糸梅（キンシバイ）

花言葉・・きらめき・太陽の輝き
由来・・・中国中部原産で江戸時代中期に日本に渡来しました。その頃から観賞用として盛んに栽培され、日本の東北地方よりも南の地域では、公園や街路樹などに利用されています。開花期間が長く、枝葉が柔らかで和洋どちらにも合うので庭木にも良いです。葉と花のコントラストが美しく、切り花や華道の花材によく利用されています。名前の由来は、花の中に金糸の様なおしべが沢山生えていて、花の形が梅に似ていることから名付けられました。

月見草 & 待宵草
（ツキミソウ）　（マツヨイグサ）

花言葉・・無言の愛・自由な心
由来・・・北アメリカ・メキシコが原産で明治以前に観賞用として渡来しましたが、同時期に渡来した待宵草（マツヨイグサ）の方が早く広まり野生化した為、繁殖力が弱かった月見草は殆ど姿を消しました。待宵草の花が黄色で月をイメージしやすかったことや夜に開花して一晩だけ咲く開花の仕方も似ているので待宵草を月見草だと思っている方も多いようです。月見草に姿が似た昼咲月見草（ヒルサキツキミソウ）は道端で見かけることも多いです。

６月のしシピ　「カルボナーラ風フレンチトースト」

【材料…２人分】

- バゲット　80g（2cm幅 ×4 個）
- ベーコン　50g
- きざみパセリ　適量
- 粉チーズ　適量
- 粗びきコショウ　適量
- オリーブオイル　大さじ１強

A
- 牛乳　60ml
- 卵　１個
- 塩　ふたつまみ

【作り方】

① A をボウルに入れてよく混ぜ、バゲットを漬け込んでおく。ベーコンは細切りにする。

② フライパンにオリーブオイルをひき、卵液に漬け込んだバゲットを並べてこんがりと両面を焼く。ベーコンはフライパンの端によせて炒める。

③ バゲットを器に盛り、②のベーコンをのせきざみパセリ、粉チーズ、粗びきコショウをトッピングしたら出来上がり。

四万十にお住まいの「みやちゃん」さんの素敵なお料理ブログからレシピをご紹介♪
四万十住人の簡単料理ブログ
http://shimanto-miyachan.blog.jp/

粉チーズに粗びきコショウがアクセント♪朝食にピッタリな甘くないフレンチトースト☆彡

Instagram やってます。　＼Follow Me !／　@hamahome2021

濱田工務店の facebook

久々の書き込みと相成ります。奥能登の現場が追い込みの最中ですので毎日の様に現場で指揮を執って居ます。この建物は木造建築で長年培った曲げ物の曲線美を意匠通りに作り出すという技術を生かしての工事と相成りました。職人冥利に尽きると思います。現在は FRP 工事の最中です。この建物は現代美の象徴だと思います。完成が待たれます。

2022年
5月28日
土曜日

なるべく毎日更新中！　http://hama-home.jp/wp/

2022年６月　建築吉日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1 先勝 衣替え 建築吉日（さだん）	2 友引	3 先負	4 仏滅 金沢百万石まつり
5 大安 建築吉日（なる）	6 赤口	7 先勝	8 友引 建築吉日（ひらく）	9 先負	10 仏滅 建築吉日（たつ）	11 大安
12 赤口 建築吉日（みつ）	13 先勝 建築吉日（たいら）	14 友引 建築吉日（さだん）	15 先負	16 仏滅 和菓子の日	17 大安	18 赤口
19 先勝 父の日	20 友引 建築吉日（ひらく）	21 先負 夏至	22 仏滅 建築吉日（たつ）	23 大安	24 赤口 建築吉日（みつ）	25 先勝 建築吉日（たいら）
26 友引 建築吉日（さだん）	27 先負	28 仏滅	29 赤口	30 先勝 夏越の大祓		

※祝日は法律の改正により変更になる場合があります。

地鎮祭や上棟式、お引越しのスケジュール立てに参考までにご活用下さい。

『たつ』　開店、移転、柱立て、棟上げ、新規事の開始など、すべてに大吉。
『みつ』　建築、移転、開店、祝い事、すべて吉。
『たいら』地固め、柱立て、祝い事、すべて円満。
『さだん』建築、移転、開店、新規事の開始などすべて吉。
『なる』　新規事の開始は吉。
『ひらく』建築、移転、開店、すべて吉。

はまホーム　検索

〒920-0356　金沢市専光寺町ワ 56-1
0120-969-003　076-266-1212

6/19(日) HAPPY FATHER'S DAY

世界各国で父の日があり、その日付や由来は様々です。たとえば、イタリアやスペインなどカトリック系の国では３月１９日「聖ジュゼッペ（英語ではヨセフ）の日」が父の日で、オーストラリアやニュージーランドでは９月の第１日曜日が父の日です。日本の父の日は、母の日と同じくアメリカから伝わった風習です。父の日が誕生したきっかけは、ソノラ・スマート・ドットという女性の嘆願によるものです。１８６１年に南北戦争が始まり、ソノラの父親は戦地へ招集されます。父親が戦地へ赴いている間、ソノラの母親は６人の子供を抱えながら働きましたが１８６５年に南北戦争が終結し、父親が戻ってきて間もなく母親は過労が原因で亡くなってしまいました。その後ソノラの父親が男手ひとつで子供６人の生活を支えました。父親は再婚することなく家事や育児をしながら働き詰めの日々を送り、子供たちが全員成人した後に亡くなりました。６人兄弟の末っ子だったソノラは、ある日教会で行われていた説教を聴き、母の日があることを知りました。そこで、父親に感謝する日も作って欲しいと１９０９年に牧師協会に嘆願しました。そしてその思いによって１９１０年６月１９日に初めて父の日の式典が開催されることになりました。最初はソノラの父親の誕生日である６月５日に式典を予定していましたが、準備が間に合わず延期となり、６月１９日に開催されたそうです。この日が６月の第３日曜日だったことから、父の日はそのまま６月第３日曜日ということで定着したようです。しかし、この父の日の式典が一般に浸透するまでには、実に６年もの年月がかかったといわれています。なかなか多くの人に浸透することがなかった父の日でしたが、１９１６年の式典で第２９代アメリカ大統領であるウッドロー・ウィルソンが演説を行ったことで、沢山の人が知るきっかけとなりました。その後、１９６６年に同国第３６代大統領リンドン・ジョンソンが「父の日」を称賛する大統領告示をだし、６月の第３日曜日を「父の日」と定めました。そして１９７２年には国の記念日として正式に制定されました。今ではアメリカだけではなく、日本や中国などのアジア、ヨーロッパなど世界各国で父の日が広まっています。父を愛するソノラの気持ちが多くの国々で共感を呼んだ結果といえるのではないでしょうか。日本に父の日が入ってきたのは１９５０年頃ですが、人々の間に広く知られ、実際にお祝いされるようになったのは１９８０年代です。１９８１年に設立された「日本ファーザーズ・デイ委員会」が父の日の浸透に大きく寄与しています。母の日がすでに定着していた１９８０年代の日本では、父の日もすぐに人々に親しまれるようになりました。「日本ファーザーズ・デイ委員会」が主催する人気イベントのひとつ「ベスト・ファーザーイエローリボン賞」は、「素敵なお父さん」として選ばれた著名人に贈られる賞で、毎年６月の父の日近くに受賞式が行われます。父の日に贈る花といえばバラですが、これもソノラが父親の墓前に白いバラを供えたことが由来で、母の日のカーネーションと同様に健在なら赤いバラ、亡くなっている場合は白いバラを贈ります。日本ではバラの色に特に決まりはありませんが、先ほどの日本ファーザーズ・デイ委員会が開催している「父の日黄色いリボンキャンペーン」の影響で黄色がイメージカラーとして定着し、バラを贈る風習とも結びついて黄色いバラを贈るようになったようです。「お父さんにバラを贈るのはちょっとてれくさい」という方は、同じ黄色の花のひまわりがおススメです。「あこがれ」「敬慕」「愛慕」などの花言葉や太陽に向かって力強く伸びるひまわりの立ち姿は家族の為に頑張るお父さんのようです。母の日に比べると少し影が薄い父の日ですが、改めて由来を知ると印象が変わりますね。今年の父の日は普段恥ずかしくて言えない感謝の気持ちを込めてお祝いしてみてはいかがでしょうか。

フィンランド 11月第２日曜日

北欧の多くの国ではこの日が父の日とされています。この月に祝日が無かったという、非常にシンプルな理由で決まりました。カードや手作りのプレゼントが多いそう。

イタリア 3月１９日

イエス・キリストの養父である「聖ジュゼッペ（英語でヨゼフ）」の日です。当日は「ゼッポレ」という穴の無いフレンチクルーラーの様なお菓子を食べます。

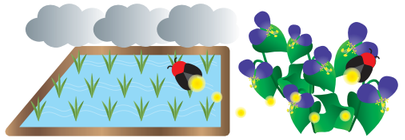
タ イ １２月５日

タイの父の日は前国王陛下（ラーマ９世）の誕生日として盛大にお祝いされます。前国王の誕生色である黄色い服や黄色い物が飾られ、黄色いカンナの花が贈られます。各地でメモリアルイベントが開催されます。

二十四節気 ― 七十二候

芒 種

６月６日頃



芒種（ぼうしゅ）とは、稲や麦など穂が出る植物の種を巻く頃のこと。稲の穂先にある針のような突起を、芒（のぎ）といいます。この頃から雨空が増えていきます。

蟷螂生　かまきりしょうず　6/6 ～ 6/10 頃
秋に産みつけられた卵から、かまきりが誕生する頃。かまきりは農作物には手をつけず、害虫を捕まえてくれる、私たちにとってありがたい存在です。

腐草為螢　くされたるくさほたるとなる　6/11 ～ 6/15 頃
ホタルが吉良闇に光を放ちながら、飛び交う頃。きれいな水辺に住んでいると思われがちですが、野原でも蒸れて腐りかけた草の下で、明かりを灯し始めます。

梅子黄　うめのみきばむ　6/16 ～ 6/20 頃
梅雨入りと同じくして、梅の実が薄黄色に色づく頃。梅雨という言葉は、梅の実が熟す頃の雨という意味です。黴（カビ）が生えやすい季節なので「黴雨（ばいう）」と書く事もありました。

夏 至

６月21 日頃

夏至（げし）とは、一年でいちばん日が長く、夜が短くなる頃のこと。気温が上がり、暑さは日に日に増していきますが日照時間は冬に向かって少しずつ短くなっていきます。

乃東枯　なつかれくさかるる　6/21 ～ 6/25 頃
冬至の頃に芽を出した「鞦草（うつぼぐさ）」が枯れていく頃。色鮮やかな夏の花が開花するという時期に、枯れていく花に思いを寄せた古人の優しさを感じる言葉です。

菖蒲華　あやめはなさく　6/26 ～ 6/30 頃
アヤメが花を咲かせる頃。アヤメが咲くと、梅雨到来といわれています。アヤメ、ハナショウブ、カキツバタはよく似ており非常に見分けがつきにくいです。

半夏生　はんげしょうず　7/1 ～ 7/6 頃
半夏（からすびしゃく）が生える頃であり、半夏生の名をもつ草の葉が白く染まる頃。農事の節目ともされており、田植えを終わらせる頃です。

★暑気払い★

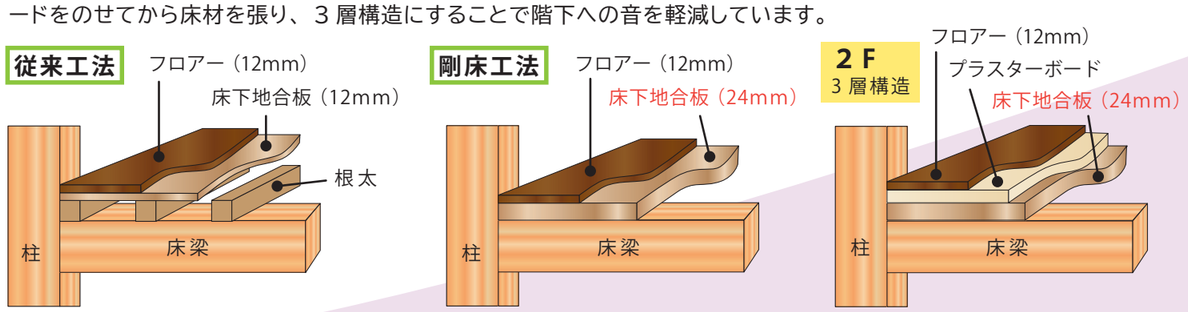
暑気払いとは、夏の暑さを払いのけ取り除くという意味で、暑さよけの方法をいろいろ工夫することを言います。エアコンなどない時代、冬の寒さは火を利用してしのげても、暑さは対処のしようがないものでした。その為、食べ物や飲み物を工夫したり、涼しく感じる行事を行って「体にたまった熱」を追い出そうとしたのです。現代では、室内の気温をコントロールしでき、暑気払いは冷たいものを飲んだり、涼しげなものを食べたりして、ストレス解消をする…といった使われ方が多いですね。「暑気払い」という言葉が使える期間の限定はなく、どの時期でも使うことができます。例えば梅雨の時期に、蒸し暑いから流し素麺で暑気払いをする…といった言い方もできます。「暑気払い」に似た言葉に「納涼」がありますが、納涼は「酷暑の頃に使う言葉」とされています。具体的には、梅雨明けからお盆が終わる頃までの約１か月弱で、時間的には夕涼みを指すことが多いです。江戸時代には、川に屋形船を浮かべて涼むことが流行りました。その時の暇つぶし程度の花火がだんだんと大規模化していって、夏の「納涼花火大会」になったそうです。「納涼」は盛夏の夕方～夜に、いっとき暑さを忘れる行為を楽しむことを指し、「暑気払い」は体の中にたまった暑さを追い払うことを指します。どちらも近い意味ですが、違ったニュアンスになりますね。上手に使い分けると良いですね。

住宅建築まめ知識

今回のテーマは **剛床工法（ごうしょうこうほう）**

次回のテーマは …建て方について

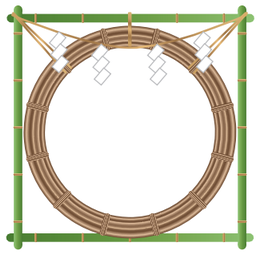
従来の床工法（根太工法）とは、根太と呼ばれる床板を支えるために渡す角材を使用するものでした。一方、剛床工法とは、根太を使用せず、下地の合板を厚くして梁に直接留め付ける床組の方法のことをいい、根太レス工法とも呼ばれています。剛床工法には、水平方向に対する力に強く、地震や台風によって歪みにくいという利点があります。揺れや重さを床板の全面で吸収・拡散できるので、一カ所にかかる負担を軽減することができます。また、根太を置かないので施工にかかる時間も短く、仕上がりにムラが少ないのもメリットです。利点の多い剛床工法ですがデメリットもあります。合板の中心のしなりや、床下が空洞になるため2階の足音が下の階へ響きやすいなどがありますが、はまホームでは、910mm間隔の間にも横架材を設けて床のたわみを防ぎ、２階の床には24mmの構造用合板の上にプラスターボードをのせてから床材を張り、３層構造にすることで階下への音を軽減しています。



夏越大祓（なごしのおおはらえ）

夏越大祓とは１年の半分にあたる６月 30 日に、半年の間に身に溜まった穢れを落として残り半年の息災を祈願する神事です。神社には人の背丈よりも大きな茅の輪が据えられ、参拝者はここをくぐって厄除けを行います。この行事は記紀神話にみられる伊弉諾尊（いざなぎのみこと）の禊祓（みそぎはらい）を起源とし宮中においても、古くから大祓が行われてきました。中世以降、各神社で年中行事の一つとして普及し、現在では多くの神社の恒例式となっています。年に２度行われ、６月の祓を「夏越の大祓」と呼びます。大祓詞（おおはらえことば）を唱え、人形（ひとがた＝人の形に切った白紙）などを用いて、身についた半年間の穢れを祓い、無病息災を祈るため、茅や藁を束ねた茅の輪を神前に立てて、これを３回くぐりながら「水無月の夏越の祓をする人は千歳の命のぶというなり」と唱えます。（神社によって唱える祝詞が違う場合があります。）また、１２月の大祓は年越しの祓とも呼ばれ新たな年を迎えるために心身を清める祓いです。

人形代
（ひとかたしろ）
名前や年齢を書き、自身の調子の悪い箇所を撫でて人形に移し、身代わりとして神社に奉納して厄払いをします。



茅の輪くぐり
（ちのわくぐり）
参道の鳥居などの結界内に茅（ちがや）という草で編んだ直径数メートルの輪を作り、これをくぐることで厄災を祓い清めるというものです。

編集後記

ami

そろそろ梅雨入りですね。北陸地方の梅雨入りは６月８日頃と予想が出ていました。今年は平年より早いようです。雨が続くと洗濯物が乾きにくいのでとっても困りますよね。干した洗濯物が乾く前に洗濯物がどんどんたまってしまうので、そんな時はコインランドリーの乾燥機のお世話になっています。３０分程で乾くので大助かりです。乾燥機能付きの洗濯機が欲しいところですが、お高いので宝くじが当たるといいな～と現実逃避してしまいます（´-'）.。oO

はまちゃん新聞